

2022年4月1日

全国の教会・伝道所の女性会の皆さま

日本バプテスト女性連合
6・23「沖縄（命どう宝）の日」推進委員会

「祈り便」第58信（4月～7月）のご案内

「言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている」
（ヨハネによる福音書1:4～5節前半）

イエスの受難ののち、復活の希望をいただけますことを感謝いたします。

コロナ危機が長引く中で、生活困窮者や自死者は増加し、家族崩壊が進み、国民生活は悪化の一途をたどっています。そのような状況下で、国は経済の立て直しを優先させ、防衛の名のもとに軍備強化に力を入れています。現在宮古島をはじめとする南西諸島では軍事基地化が進み、日本のミサイル基地が次々と建設されて、長年住んでいる島の人びとの平和を脅かしています。

沖縄戦で島民の3人に一人が犠牲になった島は、戦争終結後も米軍の支配下に置かれて苦難の歴史を歩きました。1972年にようやく「祖国」復帰を果たしましたが、米軍基地の大半が沖縄に集中して治安はますます悪化し、人びとの平和への期待から大きくかけ離れた状況になってしまいました。沖縄の美しい自然を破壊する辺野古新基地建設も決して許されることではありません。

ウクライナ、ミャンマーをはじめ世界中で武力による人命と人権の侵害が行われています。戦争に勝者はいません。犠牲になる命がこれ以上奪われないように、そして沖縄を二度と戦場とさせないように、今こそ平和を祈り求めていきましょう。

「祈り便」第58信をお送りします。多くの友と祈りを合わせることができるよう。教会でご掲示よろしくお願ひします。

*第3回「三バプテスト女性会研修会」と第13回「6・23『沖縄（命どう宝）の日』学習ツアー」（6/21～24）は、人数を制限して開催することとなりました（4/1からの募集ですでに定員になりました）。どうぞお祈りください。詳細は、女性連合ホームページをご覧ください。